

「ALPS 処理水の海洋放出時期決定」に関する  
県議会議長コメント

本日、福島第一原子力発電所におけるALPS 処理水の海洋放出時期が決定されたが、処理水の海洋放出による新たな風評発生に対する懸念は根強い。

今後、数十年の長期間にわたって続く処理水の海洋放出について、国及び東京電力においては、安全対策に万全を期した上で着実に実行することはもとより、国内外における理解醸成に向け、放出作業の透明性を確保し科学的根拠に基づく正しい情報を分かりやすく継続して発信し続けるとともに、風評を強く懸念する関係者の声に耳を傾け、事業者が将来に向け安心かつ誇りをもって事業を継続・拡大できるよう、風評対策に全力で取り組むよう強く求める。

令和5年8月22日

福島県議会議長 渡辺 義信